

# 豊明市行政評価制度 「事務事業」評価票

一般事務事業	経常事務事業	建設事務事業
--------	--------	--------

第5次行政改革大綱第1次実施計画との関連		有・無
<input type="checkbox"/> 有		
<input checked="" type="checkbox"/> 無		

## 1 事務事業の概要

1-1 事務事業の名称	高齢者向けウォーキングの推進事業							
1-2 担当	部	健康福祉部	課 又は施設	健康課	係	健康推進係	評価票作成者	健康課長補佐 佐藤鉄男
1-3 総合計画における施策の体系	節	保健福祉 「健康で安心して暮らせるふれあい・支えあいのまちづくり」			基本施策	成人・老人保健	コード	2 1 1
	項	健康			単位施策(中)	高齢者の健康づくりの推進	コード	2 1 1 4
					単位施策(小)	高齢者向けのウォーキングの推進	コード	2 1 1 4 1
1-4 事務事業の目的の精査	対象と対象の数	高齢者のウォーキング実施者(60~69歳人口:8863人(平成18年4月現在))		意図(対象を事務事業によってどのような状態にするのか)		高齢者が健康を維持できるようにするための活動に取り組む		
1-5 事務事業の内容	健康維持のための活動としてウォーキングを普及するように努める。個人的に実施するウォーキングのほかに、ウォーキンググループを中核として毎月ウォーキングを実施し、ウォーキングに取り組む高齢者の増加を図る。							

## 2 事務事業実施の状況

2-1 事務事業の実施における基本認識	平成18年度	事務事業実施にあたって心がけた改善の取組み 身近なところでウォーキングができる条件作りを、ウォーキング推進グループと協働して毎月実施する	社会状況等の事務事業がおかれる環境把握 高齢化が進行し前期高齢者の健康志向活動の増加が見込まれる	市民ニーズの認識 日常的にスポーツに取り組める場所づくりが求められている
	平成19年度			
	平成20年度			
	平成21年度			
	平成22年度			
	平成23年度			
	平成24年度			
	平成25年度			
	平成26年度			
	平成27年度			

2-2 総合計画における単位施策成果指標	事務事業成果指標名		前期目標値(単位)	後期目標値(単位)	指標の説明
	1日平均ウォーキング時間が30分未満の人の割合(60~69歳)		33.0(%)	31.0(%)	場所も用具も不要なウォーキングが日常的な運動と認識され、健康維持のため30分以上実施することが望ましいが、実施していない人の数

2-3 成果指標に係る活動実績とコストの推移(アウトプット分析)	活動実績 a(人)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	直接事業費 b(千円)	600									
	人件費 c(千円)	20									
	合計コスト d(b+c)(千円)	410									
	単位コスト d/a(千円)	430									
		1人当たり0.7	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり

アウトプット実績(活動数値)の補足説明 → ウォーキング参加者傷害保険料 職員の会議参加・資料作り・ウォーキング参加 120時間

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
2 - 4 成果指標に対応する実績と達成度の推移	指標対応実績(単位)										
	後期目標値に対する達成度(%)										

3 事務事業の自己評価結果

3 - 1 評価結果(アウトカム自己分析)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
単年度担当課評価		B									

- 4段階評価結果
- A : 上位目的である施策に貢献しているので継続する
  - B : 事務事業の実施手法や環境(予算的・人的)に改善が必要
  - C : 縮小等、事務事業としての見直しが必要
  - D : 事務事業の廃止が相当
- 判断の基準
- 必要性(必要な事務事業であるか)
  - 公共性(公が実施する意味があるか)
  - 妥当性(ニーズに対して投入が適正か)
  - 効率性(結果に至る活動に無駄はないか)
  - 有効性(活動の結果が上位の目的に貢献しているか)
  - 市民満足度(事務事業が対象にしている市民を満足させているか)

3 - 2 評価の内容	今後の環境変化を踏まえた課題認識			次年度に向けて改善する取組み			事務事業の担当課としての単年度の取り組みの自己評価																							
	平成18年度	健康志向でウォーキング人口が増加している。グループ又は地域での健康を意識した組織化された活動への誘導が必要。	ウォーキング推進グループを中心に実施しているが、各地域にも推進グループを広げられる活動への展開を考慮。	年度当初から推進グループが結成され、月1回のウォーキングの会を実施できた。ウォーキングの定着に向けてグループの活動を支援していく。	平成19年度			平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度	

4 事務事業の総合評価結果

4 - 1 総合評価の結果		結果	審査会による改善方向の指示
平成18年度	B	高齢者ウォーキング普及活動等実施参加者増に向けて努力すること。	
平成19年度			
平成20年度			
平成21年度			
平成22年度			
平成23年度			
平成24年度			
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			